

しんねん あ
新年明けましておめでとうございます

がっこうちょう もり あい こ
学校長 森 愛 子

1 2月に保健委員会主催で中・高学年の「しせいトレーニング集会」が開かれました。今月は低学年向けにも開きます。今年度、学校保健委員会で姿勢について取り組んでいる中、学校便り7月号で紹介した「マナーキッズ体幹遊び教室」で保健委員のメンバーが正しい姿勢を支えるために体幹を鍛える遊びを習いました。そこで習った遊びを取り入れ、考えたトレーニングを集会で、全校児童に教えたわけです。腕だけで体を支えるなど少しきつい動きもあり、苦しそうにしていた子もいましたが、仲間と競争感覚で楽しみながらトレーニングしていました。背筋を鍛えるなどの意図のある動きが盛り込まれています。姿勢を意識することとともに集会で覚えたしせいトレーニングも続けることで、生涯に渡る気力・体力の基となる正しい姿勢を維持できるようになってほしいと思います。

さて、次は、昨年度から継続していることですが、教職員は、生活・総合を重点研究として、「人や地域とのかかわりから主体的な学びに向かう力の育成を図る」ために授業づくりを研究しています。今年度は2年目ですので、昨年度以上に市沢の町の方の協力していただき、子どもたちの思いや願い、疑問に答えていただき、充実した活動が広がっています。

まちを愛する写真家中島さんとの出会い、竹細工の名人内田さん、竹をくださった野口さん、地域防災の高源さん、早川木材の早川さん、「もったいない」からの出会い谷端ご夫妻など、子どもたちが自分たちの思いをどう形にしようかと相談する中で、それならあの方に見つけてきたこの町の方々です。子どもたちからの情報で担任がお願いし、快くご協力いただけたわけですが、これも地域の大人と子どもたちの距離が近いという市沢の町のよさにほかなりません。自治会、敬老会、社協を始めとして、この場で紹介した方以外の多くの皆様のご協力のおかげで、子どもたちはすくすくと成長し、学校でわからないことは「〇〇さんなら知っているのでは」「ぼくが、〇〇さんに聞いてくる」と相談し、主体的な活動がスタートしています。

今度も昔遊びやもち焼き体験で敬老会の皆様にご協力いただきます。地域の皆様には「生きた学習材」としてぜひこれからも学校の教育活動を支えていただきたいと思います。いずれ「市沢人材バンク」などという形で、生活・総合の学習に協力していただける方の情報を整理していきたいと考えておりますが、子どもたちからの自発的な働きかけもあると思います。教職員一同、力を合わせて、子どもたちの主体的な学びを支えるよう努めてまいりますので、本年もどうぞよろしく願いいたします。